

かけはし

NO. 10

児童数 475名

〈学校教育目標〉 仲間とともに 全力で学び、活動する治西っ子の育成

- (は) はきはき話し、こつこつ学ぶ子 (る) ルールを守り、元気にあいさつする子
(に) にこにこ笑顔で、仲良く活動する子 (し) しんじ合い、互いに助け合う子

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日(木)に、文部科学省が小学校6年生および中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査について、7月末に調査結果が公表されました。「児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること」を目的に、学校生活や家庭生活の学力の背景を含めて調査されています。「教科に関する調査」と「質問調査」の2つが実施されました。本校においても、その結果を踏まえ、8月に校内研修を行い、分析をするとともに改善策について話し合いました。調査対象は6年生ですが、学校全体の状況と捉え、全学年を通じて一層の改善を図ってまいります。

以下に、学力状況調査の結果概要及び改善策の方向性についてお知らせします。なお、6年生の児童の個々の結果につきましては、10月の個別懇談会の時に、前期あゆみと一緒にお渡しします。

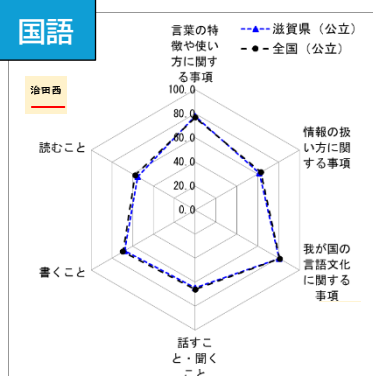
学校のHPに学校だよりをカラーで掲載しております。
合わせてご覧ください。

教科に関する調査

治田西 全国平均と同程度である

治田西 やや全国平均を下回っている

国語



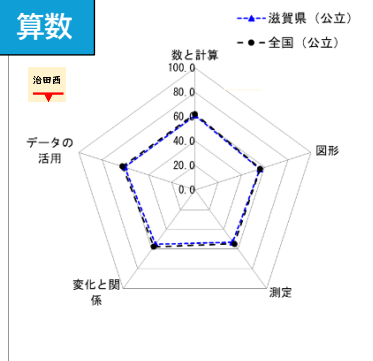
本校の主な状況

どの領域についても、ほぼ全国平均と同程度の状況である。情報の扱いに関する事項、読むこと、我が国の言語文化に関する事項については、やや課題が見られる。また、「書くこと」において、記述式の問題に対する無回答の割合が全国平均より多く、選択式の問題であっても「分からない」ことに関して、無回答になる割合が全国平均より多い。

本校の改善の方向

- ・集めた情報を分類したり、関係づけたりして、伝え合う内容や表現する内容を検討する場面を設定する学習の工夫
- ・書く活動への抵抗を減らすことにつなぐ学年に応じた学習の定着化
- ・文章を読んで事実と感想、意見などとの関係を捉えること、文章全体の構成を捉えて要旨の要点を把握すること、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることなどができるような学習の工夫

算数



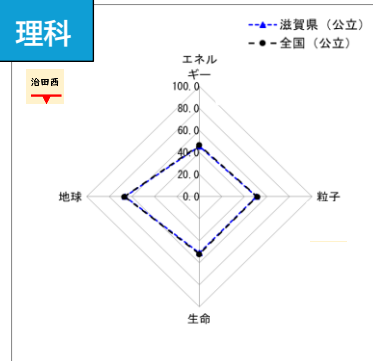
本校の主な状況

数と計算の領域は正答率が高い。やや全国平均を下回っている領域がある。特に、図形の意味や性質についての理解や、計算方法を式や図、言葉で表現することについて課題が見られる。

本校の改善の方向

- ・算数の用語や表現については、知識の習得と、習得した知識を活用する活動の繰り返し
- ・基礎基本の確実な定着に一層の工夫および数学的な考え方を高める指導の工夫
- ・自分の考えを文章や言葉に表して説明し合う活動の設定

理科



本校の主な状況

地球を柱とする領域は正答率が高い。やや全国平均を下回っている領域がある。特に、植物のつくりや発芽条件等を問う生命を柱とする領域に課題が見られる。次に、海面水位の上昇した理由を予想する問題にも課題が見られる。

本校の改善の方向

- ・理科で出てくる用語や言葉は、名称や意味についてよく理解し、日常的に使えるような工夫
- ・ものの性質などについては、常に関連付けて考えることを意識して学習する工夫
- ・事実から考えたことを説明できるように、話したり書いたりする機会の設定

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

質問の内容	本校 (%)	全国 (%)	比較(ポイント)
自分には、よいところがあると思いますか。	92.6	86.9	+5.7
学校に行くのは楽しいと思いますか。	91.4	86.5	+4.9
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。	44.5	39.4	+5.1
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	85.2	81.3	+3.9
あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか。	88.9	81.8	+7.1
理科の勉強は好きですか。	85.2	80.1	+5.1
学校の授業時間以外に、普段、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 ＜2 時間以上＞	17.3	24.9	-7.6
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	75.3	79.4	-4.1
算数の勉強は好きですか。	44.4	57.9	-13.5

本校の主な状況と改善の方向

- ・学校生活を楽しんでいる児童が多くいることが分かる。今後も「誰もが」「安心して」「安全に」過ごせる学校づくりに努めていく。
- ・タブレット PC の活用について、様々な方法で学習を進め、それぞれの学習方法のよさを実感できている様子も窺える。今後も、個々の課題や必要感に応じて、より適切な学び方を提供できるような授業づくりに努めていく。
- ・児童が学校外の地域と積極的に関わり、地域と連携しながら学習や体験活動ができており、児童の関心も高い。
- ・授業で学んだことを振り返り、この学びをしてよかったと思えるように授業を改善していく必要がある。
- ・家庭学習の手引きを活用し、保護者との連携により家庭学習の習慣化に一層取り組む。
- ・教科学習のおもしろさを実感できる学習の工夫をしていく。

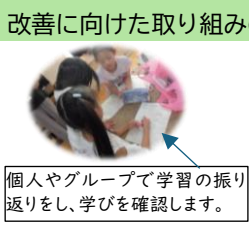
本校の令和7年度全国学力・学習状況調査の結果概要については、特に保護者の皆様と共有したい部分を選んでお伝えしています。なお、以下に示す内容は学力の特定の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面であることをご理解くださいますようお願いいたします。本調査結果は、今後の本校児童が学力を身に付けるための大切な資料として活用していきたいと考えています。

我が校の「学ぶ力向上策」

本校では、「読み解く力」の育成に重点をおいた3つの視点から、我が校の「学ぶ力向上策」を策定し、取組みを進めています。8月の校内校内研修では、全職員で調査の分析から考察し、今後学年に応じて取り組んでいきたいことを話し合いました。

視点①子どもたちが主体の授業づくり	【視点2】学びを支え合う集団づくり	【視点3】協働して取り組む学校づくり
①学びに見通しと目標をもち、学び合いを振り返る学習指導の工夫 ②ICT 機器を効果的に活用した授業の展開	①なかよしタイムでの異学年交流や学校行事等、児童が自分を高め、自分と向き合い、他者とつながることで、学び合いができるような特別活動の充実	①子育て教育 Next プロジェクトによる中学校区ごとの共通実践 ②学び、生き方、生活、仲間の4つの部会において、「仲間とともに全力で学び、活動する治西っ子の育成」に向けた方策の実施

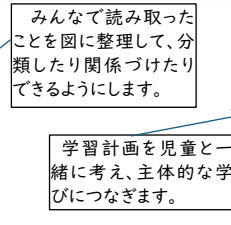
改善に向けた取り組みの事例



個人やグループで学習の振り返りをし、学びを確認します。



みんなで読み取ったことを図に整理して、分類したり関係づけたりできるようにします。



学習計画を児童と一緒に考え、主体的な学びにつなぎます。



自分の考えを伝え、交流する場を意識して設定します。

ご家庭にお願いしたいこと

- ・子どもたちが自信をもって夢や希望を語り、目標に向かってがんばり続けることができるよう、励ましの声かけをお願いします。
- ・規則正しい生活は、子どもたちの健やかな成長に欠かすことができません。引き続き、早寝早起き、朝ご飯をはじめ、規則正しい生活習慣が身につくためのサポートをお願いします。また、スマホや SNS などの使い方については、各家庭のルールを再確認していただき、適切に使用していただけるよう、ご配慮をお願いします。

学校の HP に学校だよりをカラーで掲載しております。合わせてご覧ください。